



地区だより

すすま

発行：須々万地区まちづくり推進協議会

監修：須々万市民センター



増刊 / 発行

令和6年 1月 1日

須々万地区人口 4,213名（男性 2,010名 女性 2,203名） 《令和5年11月末現在》

～新年のご挨拶～

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかな新年をお迎えになられたこととお祝い申し上げます。

平素は「ふれあい 助けあいのまち 須々万」のまちづくりにご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

振り返ってみますと、ここ3年はコロナ禍で、大変な生活を強いられましたが、昨年5月から5類に移行以後、徐々に以前の生活に戻りつつ、皆様のご協力のお陰で、夏祭り等も盛大に開催することができました。

ところで、須々万地域においても、少子高齢化が進み、特に農業後継者の減少等により、休耕田の増大に伴う荒廃地が増えていることが心配されます。平成13年には、5,395人であった人口が、約20年後の現在4,213人と、約1,200人の減少となっています。少子高齢化は、全国的な問題で、なかなか有効な手は打てないのが現状ですが、皆様のご理解により、当地区では一施策として、5年前から新生児に対して、須々万産の新米1俵を贈呈しています。

さて、老朽化している須々万支所・市民センターについては、『(仮称)徳山北部拠点施設』として整備されます。すでに建設用地の購入も終わり、昨年からは建物の設計が行われております。また、今年からは、用地の造成工事が開始されるとのことであり、計画通りに進めば、令和8年度中に建物が完成するとのことです。

新しい施設の機能としては、これまでの支所・市民センター機能に加え、北部包括支援センターや、交流・談話・待合所スペース、学習コーナー、図書コーナーが整備されるとのことであり、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園も(仮称)徳山北部拠点施設と一体的に整備されます。

この建物の設計に際しては、皆様のご意見をお伝えし、設計に反映していただけるよう要望してまいりました。施設の整備に合わせて、これまで本庁や総合支所でしか、手続きができなかった業務のうち、徳山北部地域に住む皆様にとってニーズが高く、その利便性が高まる身近な行政手続きに関しましては、そのワンストップ化が実現する予定とのことです。

その他、徳山北分校の跡地の問題など、様々な課題はありますが、本年も住民の皆様の生の声をお聞きし、まちづくりへ反映していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

須々万地区まちづくり推進協議会 会長 有馬 孝志

徳山北分校跡地利用検討委員会 が発足!



市民センターだより 7月号で募集した、徳山北分校の跡地の有効活用を検討する組織が、10月3日(火)にまちづくり推進協議会の委嘱を受け、発足しました。

現在、月に1回のペースで、跡地利用について検討されています。

広大な徳山北分校の跡地ですが、これから検討を重ね、地域にとってより良い形になればと期待しています。



月1ペースで
検討中です♪



検討委員会のみなさま

～しゅうなん郷土伝統芸能まつり～

「須々万大名行列」「須々万地区盆踊り」が披露されました

5年に一度開催される「しゅうなん郷土伝統芸能まつり」が、12月17日(日)に周南市文化会館で行われ、「須々万大名行列」と「須々万地区盆踊り」が披露されました。

当日は、大勢の人が会場に来られ、それぞれ約20分間の大名行列と盆踊りを見て、大きな拍手をいただいていたいました。

特に、最後の演目の「みんなで踊ろう!平成すすま音頭」では、参加者も一緒になって音頭を踊り、須々万地区以外の人たちとも、気持ちがひとつとなっていました。

当日まで練習され、披露された皆様、とても良い発表をありがとうございました。



須々万大名行列



須々万地区盆踊り



平成すすま音頭

☆ 新着図書のお知らせ ☆

NEW!

市民センター文庫(20冊)を入荷しました!支所の玄関で借りることができます♪



＜入荷されたリクエスト本＞

- ハンチコック(市川 沙央)
- マイ・プレゼント(青山 美智子)
- くもをさがす(西 加奈子)
- ことばのふしぎ大冒険(川上徹也・春仲萌絵)

【文庫の借り方】本を借りる時、返すときに「貸し出し帳」に必要事項を記入してください。

※本の貸し出し期間は、2週間までです。